

情報通信月間参加行事 実施報告書

行事ID	主催団体	行事形式(※)	行事名
C071	一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ)	④	小池 良次氏 講演「企業のAI導入と米国ICT業界」
開催日	開催場所	行事参加人数	Webサイト・URL
6月10日	CIAJ 会議室 / オンライン併用	実地:6名 オンライン:117名	https://ischannel.ciaj.or.jp/seminars/164

行事実施概要・アピール等

【概要】

CIAJグローバル市場調査委員会 小池WGは、本分野の先端を走る、米国在住ICTジャーナリストの小池 良次氏から直接話を伺い、対面での質疑応答や議論が可能な数少ない場を提供し、会員企業のグローバル市場の動向把握に役立てることを目的に開催。今回、本年度第1回開催分をCIAJセミナーとして会員限定で公開。

1. NVIDIA GTC、Google Cloud Next等の最新展示会報告

基調講演、各社AIモデルや新製品・サービス、AI活用事例の紹介により、最新技術動向を把握した。

2. 米国企業のAI導入状況と市場動向

米国における生成AIの企業導入は試験レベルから実用化の段階に入り、企業基幹システムへのAI導入が大きなブームとなっている。しかし、企業は高いライセンス費用を嫌い、オープンソースの高性能且つ軽量の推論基盤モデルを採用し、ファイン・チューニングによって社内活用する方向へ進んでいる(「推論マーケット」)。一方、AIモデルの性能向上でシャドーAI等による企業情報漏洩も発生しており、AIセキュリティの重要性も増している。生成AIブームはハイパースケーラーが牽引しているが、通信事業者もB2Bサービスの新たな市場としてAI関連の模索が始まっている。

3. 米国放送通信業界のアップデート

米国ブロードバンド業界では、大手通信事業者による光ファイバー事業者の買収が続く一方、ブロードバンド普及の補助金政策は停滞。各社四半期決算や販売戦略から、5G Advancedによる新サービスが見えない中、T-Mobile US社は安定した事業を展開しているものの、特にVerizon社は大幅な携帯顧客の減少に直面し、CATV事業者もブロードバンド加入者数が減少の一途をたどっている等、大変厳しい状況であることを理解した。



企業AI導入と市場動向

- OpenAI GPTを筆頭に、各社AIモデルは市場に登場し、企業で本格的な活用が始まる。Foundation Modelが開発競争を加速し、これを「推論マーケット」と呼ぶ。
- 学習マーケットにおける企業のAI導入モデルは、OpenAI社やAnthropic、Google社、Meta社などが開発した大規模モデルのライセンス費用を、自社でファイン・チューニングをして、顧客の問い合わせなどに活用する。社内活用する方法が主流になる。
- しかし、2025年以降は中国DeepSeekが高性能な推論モデルを発表して以来、企業のAI導入モデルはAI一党ではなくなる。オープン・ソース・モデルの活用により、推論のコストが大幅に削減され、ファイン・チューニングの必要性も減る。これを「推論マーケット」と呼ぶ。
- 2025年は、生成AIが学習マーケットから推論マーケットへと移行している。
- それに加え、推論モデルの登場で「クローズド・ソース型」(ライセンス費用/大規模モデル)から「オープン・ソース型」(ファイン・チューニング/推論モデル)へと移行している。
- 米国では企業基幹システムへのAI導入が大きなブームになっている。その動向は、下記のとおりである。

企業AI導入と市場動向

- 生成AIによる社内/社外への活用は、業務効率化、コスト削減、顧客対応の向上など、多くのメリットがある。
- しかし、生成AIは学習データに依存するため、学習データの質や量によって性能が左右される。
- 生成AIは学習データの質や量によって性能が左右される。
- 生成AIは学習データの質や量によって性能が左右される。

